

ヒト腫瘍組織における LAT1 発現と FBPA PET によるホウ素集積量の関連に関する研究

1. 研究の対象

包括的同意が得られている且つ、2011-165 に参加された患者さん（2012 年 3 月～2018 年 1 月までに国立がん研究センター中央病院で FBPA PET を撮影した）患者さん。

2. 研究目的・方法

(1) 目的

国立がん研究センター中央病院で FBPA PET を撮影した患者さんを対象として腫瘍組織の LAT1 発現を調べることで、ホウ素薬剤集積能に関する radiology-pathology correlation を明らかにします。

(2) 方法

対象患者さんのカルテ（2012 年～2018 年）から、年齢、性別、PS、身長、体重、血液検査所見、画像所見、治療歴、病期、病理所見（組織型、腫瘍径等）などの臨床所見の項目情報を抽出します。手術検体や生検検体を用いて、免疫染色により LAT1 発現（発現強度、腫瘍細胞間不均一性、間質細胞密度）について解析します。LAT1 発現の不均一性は、強度と領域性の観点から解析を行います。テクスチャ解析による定量的評価も検討します。また、FBPA PET 画像上で腫瘍の FBPA の SUV max を調べ、集積の不均一性に関してテクスチャ解析を用いて定量的に評価し、LAT1 発現との相関性について解析します。また、実際に BNCT を施行された患者さんにおきましては、BNCT の効果と LAT1 発現や FBPA 集積との相関についても解析します。

(3) 研究実施期間

研究許可日から 5 年間

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：生検、または手術で摘出した組織

情報：年齢、性別、PS、身長、体重、カルテ番号、生年月日、血液検査所見、画像所見、治療歴、病期、病理所見（組織型、腫瘍径等）、BNCT の治療効果（奏効や局所無再発生存期間等）等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究代表者/責任者：

柏原 大朗

国立がん研究センター中央病院 放射線治療科

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

TEL：03-3542-2511

研究事務局：

柏原 大朗

国立がん研究センター中央病院 放射線治療科

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

TEL：03-3542-2511